

特集

高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略 将来にわたり安心して暮らせる高島市を目指して

全国的な人口減少と少子高齢化の進行は、市でも大きな課題の一つです。平成17年の合併時には約5万6千人であった人口は、今年4月に5万人を割り込み、高齢化率も県下13市で最も高い割合となっています。

こうした中、人口減少を少しでも抑制し、将来にわたって安心して暮らせる市を目指すために、市では平成27年10月に「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、雇用の創出、移住定住の促進、出生数の維持、時代に合った地域づくりの4つの基本目標を掲げて、さまざまな取り組みを展開してきました。

今回、平成28年度までの取り組みの評価検証結果について、その概要をお知らせします。

【雇創創出】

◎特産品海外販売戦略事業

全国シェアの90%を市内で生産している綿フレイプ「高島ちぢみ」の国内市場が縮小する中、吸湿性にすぐれ、さわやかな着心地が得られる特性を生かし、高温多湿の東南アジア諸国に向けた販路開拓調査を実施してきました。

調査には、30〜40代の市内事業



現地デザイナーとの商談のようす

者が赴き、平成28年度からは、高島帆布の販路開拓調査も加えて、これまでにインドネシア、マレーシア、台湾で調査を行い、現地量販店や百貨店での催事出展のほか、国際的なファッション見本市への出展、現地デザイナーとの商談を行ってきました。

こうした取り組みは、市内若手事業者の意欲向上にもつながり、現在では、独自で他国調査も実施されているほか、取り組みが国内



高島晒協業組合に新たに入社された皆さん
(後列左から角さん、川島さん、南部さん、志村さん、
前列左から中村さん、井ノ口さん)

中村さんの感想

高校の時の職場体験で仕事に興味を持ちました。仕事では、商社の方とお話する機会もあります。「頑張ってるね」と言われると、とても嬉しいです。夏だけでなく、冬でも着ることができる高島ちぢみが増えるといいなと思います。

井ノ口さんの感想

引継ぎ中は、初めて聞く言葉も多かったのですが、できることが増えてくるとやり甲斐を感じます。高島ちぢみの海外での展開を知って、カッコイイなと思いました。高島ちぢみを若い人にもっと知ってもらいたいです。

メディアなどで注目されたこともあり、平成29年度には、高島晒協業組合に6人の雇用が生まれま

※高島晒協業組合は、市内で織られたちぢみの生機きぼたの洗浄や漂白、プリントなどの加工を行っています。

高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

4つの基本目標ごとにさまざまな事業を実施し、相乗効果を発揮することで将来的に安心して暮らせる高島市を目指しています。



※総合戦略期間は、平成27～31年度です

①高島における安定した雇用を創出する

雇用創出数 . . . **5年間で500人**

②高島への新しいひとの流れをつくる

転入者数 . . . **5年間で2,500人**

③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

出生数 . . . **5年間で1,500人**

④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

小さな拠点数 . . . **5か所**

※上記目標は、平成27年の総合戦略策定時のものです。

◎企業誘致推進事業

平成27年3月に廃校となった津西小学校の跡地活用策として、菌床きこの類の生産にあたる共栄精密株式会社（本社：東近江市）を誘致しました。

しいたけやクラゲなどのきのこ類は、中国などからの輸入も多量で、近年、食の安全安心に対する消費者意識の高まりから、国内産品の需要が増大しています。

これを受けて、滋賀県内での生産拠点拡大を希望していた共栄精密の今津西小学校活用案が検討され、トップセールスによる誘致が実現しました。

平成28年4月には、市と会社との間で事業推進に関する協定を締結し、市内での原材料調達や生産技術の普及のほか、地域雇用の拡大などにも努めていただいています。

また、同社は障がい者の雇用にも積極的に取り組まれており、市内の福祉施設から派遣されていた3人の方が、本年10月から同社に直接雇用されることになりました。

右：協定締結式の様子
下：教室を利用した菌床クラゲ栽培

菌茸類菌床の生産事業およびその関連事業の推進に関する協定書調印式

高島市・共栄精密株式会社



加えて、同社が生産するきのこは、市内量販店や飲食業者にも納入されているほか、ふるさと納税の返礼品にもなっており、今後の産業振興にも期待が高まっています。

◎雇用創出に向けたこれまでの取り組み評価

雇用の創出については、総合戦略でも取り組んでいる「実践型地域雇用創造事業」において、発酵分野や農林業分野を中心に、平成27・28年度の2か年で142人の雇用創出を実現したほか、今後予定される会員制リゾートホテルやグランピング施設の開業など、相談・検討中の企業誘致案件も含めて、500人の目標を上回る見込みと考えています。

〔転入促進〕

◎移住・定住コンシェルジュ事業

市では、2人の移住・定住コンシェルジュをおき、市で暮らしたいという方に向けたきめ細やかな相談体制を整えるほか、大阪や東京などの都市圏で開催される移住相談会などにも参加し、移住者の獲得に努めています。

また、市では「地方公共団体無料職業紹介事業者」の認可を取得



コンシェルジュによる都市圏での移住相談会

し、就職を希望される方に対して、職業相談を実施しているほか、市内の不動産業者と連携して、「空き家紹介システム」を構築することで、仕事と住まいを含めた細やかな移住相談体制を整えています。

こうしたこともあって、移住相談件数や移住実績は近年増加傾向にあります。目標には届いておらず、依然として市内若者の転出が多いという課題があります。

○びわ湖高島 ブランド戦略推進事業

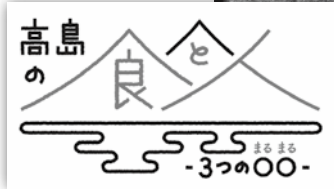
市外の方に高島の魅力を知ってもらい、市民も高島に誇りを持ってその魅力を自ら発信できるよう、WEBマガジン「高島の食と人」の取材と発信を進めてきました。

平成27・28年度にかけて、春夏



「高島の食と人」
第3話 『柿の桃源郷』より

市ホームページから
下記バナーをクリック
するとWEBマガジン
がご覧いただけます。



秋冬の高島の食とそれにもつわる人やその暮らしびりを、市民公募のライターやカメラマンによる取材で、36ストーリー、全108編発信してきました。

さらに平成28年度からは、その魅力を実際に体感していただく「サトパスツアー」も実施し、市外からの誘客にも取り組んできました。

11月9日には、こうした活動の報告会として「第7回ディスカバー高島会議」を開催し、市内外100人を超える方々と一緒に、これからの高島の魅力の発信について考えました。

熱気にあふれる会場



熱気にあふれる会場

○転入促進に向けた これまでの取り組み評価

転入促進については、毎年、1千人を超える転入があるものの、それを上回る転出が続いており、平成27・28年度とも、数百人の転出超過となっています。

コンシェルジュを通じた移住件数も、戦略期間中の目標250件に対し、平成27・28年度累計で75件と大変厳しい状況です。

一方で、市としては転入者獲得は不可欠な取り組みでもあることから、移住者の住宅確保や仕事のマッチング支援を強化するとともに、京阪神に重点を置いた出張相談事業などに引き続き取り組んでいきます。

【出生数の維持】

○これまでの取り組み評価

市では、全国各地からいただいた「ふるさと納税」での寄付金を活用して、中学生までの子ども医療費の無料化、妊婦健診の全額助成、多子世帯の第2子以降の保育料無料化などを実施し、子育て世代の負担をやわらげるまちづくり

に取り組んでいます。

こうした取り組みの成果により、平成27年に300人を割り込んだ出生数も、平成28年には312人に回復しています。

一方、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行う「出会いから子育てまでの支援事業」においては、近年結婚相談が増加していることから、結婚支援に関する取り組みを強化していくことが検討課題となっています。



【時代に合った地域づくり】

○これまでの取り組み評価

人口減少と高齢化の進展により、地域活動の維持が困難になっているなどの集落の課題をお聞きするとともに、未来の集落のあり方を住民の皆さん自身で考えていただく機会として、市では平成27年度から「集落座談会」を開催し、平成27年度に2地区、平成28年度

には12地区にお伺いしました。

人口減少により、市の財政も今後大変厳しい状況になる中で、将来にわたって持続可能な高島のあり方を考えるため、地域に本当に必要なサービスのあり方や、それを担うための市と住民の皆さんの役割分担などを、一緒に考えていく時期にさしかかっています。

今後も、こうした集落座談会を実施し、地域課題の把握と自立的な課題解決への機運づくりに取り組みしていきます。

※今年度から広報誌では毎号「集落座談会」のようすについて紹介しています。今月号は「打下区(14ページ)」を紹介していますので、併せてご覧ください。



集落座談会のようす

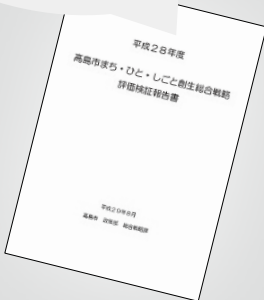
○総合戦略の評価検証体制について

総合戦略の評価検証については、産業、学識、金融、言論、市民活動などの各分野や行政関係者等、26人の外部委員からなる「サステイナブル高島ネットワーク会議」において、年間4回程度の会議を実施し、事業担当課との意見交換も交えながら、評価検証を行っています。

また、こうした意見交換に加え、市内で起業や事業拡大を目指す人に対して自身ならどういったサポートができるかについて話し合ったり、市の政策課題について理解を深めていただく機会も創出するなど、高島市の総合戦略を多様な方々で進めていく機会づくりにも努めています。

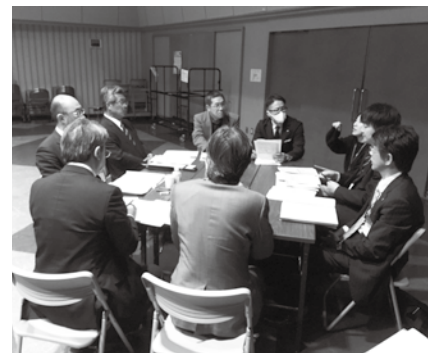
総合戦略について、
これまでの評価検証
結果を踏まえ、
結果をもとに改正を
進めたいです。

平成28年度までの総合戦略の評価検証結果の詳細は、市ホームページからダウンロードできます。



高島市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

市ホームページから上のバナーをクリック！
関連情報から「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価検証結果」をご覧ください。



サステイナブル高島ネットワーク会議

問 総合戦略課

(25) 8114